

## もの言う牧師のエッセー 第260話 リオ五輪⑧ 「沙保里を破った女の子」

オリンピック大会4連覇が期待されていたレスリングの吉田沙保里選手が決勝で敗れ日本中が涙した。“史上最強の女子レスラー”を破った相手であるヘレン・マルーリス選手は当方の近所、ハンティントン・ビーチ出身の可愛い女の子と聞いて少し驚いたが、意外にもこれが米国五輪女子レスリング史上初の金メダルとなった。さらに驚いたのは、泣き崩れる沙保里の横で、なぜか涙が止まらないヘレン。米国選手が表彰台で涙を流すのは非常に珍しい。

彼女は過去2回、沙保里と対戦し、いずれもフォール負けしたが、その後、めきめき力をつけ昨年の全米チャンプに輝いた。3年前には日本に合宿し、沙保里と仲良くツーショットを撮ったことも。「サオリは私のヒーロー。最もメダルを取った輝かしいレスラーです。彼女と戦うことはとてつもなく名誉なんです」と吉田に憧れ、尊敬し、背中を追ってきた。が、実はヘレンは55キロ級の出身だ。リオ五輪で吉田と戦うためには2キロ減量しなければならない。過酷なレスリングの練習をしながらの減量は苛烈を極めた。さらに2年前からはバレンティンコーチの指導の下、「ヨシダを倒さねば金メダルは取れない」を合言葉に研鑽を積み、自身の弱点を克服し、さらには吉田選手の試合映像を繰り返し見て攻略法を研究、さらには吉田選手の日本語のインタビューを英語に翻訳して彼女の思想までも勉強した。

「ヨシダさんのことを研究すればするほど、彼女のことが好きになった。彼女と戦うことは夢だった。サオリは敵ではない。神様は本当にそれを私に教えてくれました」。そして、「いま言えることは、Christ in me（キリストが私の中にいる）。私は十分だということです。」さらに、「完璧である必要などないのです。そんなものは探しても見つからない。問題は、十分に満たして下さる神を私が信じることです。」 キリストは言う。

**「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にもいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。」**

**ヨハネの福音書15章7節：共同訳、**

と。ヘレンは正にイエスの言葉を実践し、栄光をつかみ、世界中が見ている前で見事にキリストの旗をかかげ、彼に栄光を帰した。彼女のような真の信仰者の道を走りたい。

2016-10-13



